

## ラウンドテーブル（案）

## 1. 次回会議に向けての会長の事務局に対する指示

事務局と現場と調整のうえ、ラウンドテーブルをどういう方向にするのかということ、次回事務局から提案すること。

## 2. 5/15 会議でのラウンドテーブル設置に関する主な意見

- 現場の負担を考えると、ラウンドテーブルの設置は難しい。
- 公立と民間とが話し合う機会がないので、そういう場があれば良いと思う。
- 子育てをする施設が話し合い、連携できる体制を作るのは大事であるが、現場の職員同士となるとやはり難しい。
- 現場の先生が集まるのは、負担もかかり大変だと思うので、既存の資料等を読み合い、どんな理念を持っているのか、どんな取組をしているのかを知り、お互いの良いところを実践して行けば良いと思う。
- 現場の忙しい先生が集まるのは大変だと思うが、ラウンドテーブルは、お互いの良いところを共有できると思うので、良い取組だと思う。
- 公民関係なく阪南市の子ども達が育ってほしい姿の方向性は、同じであると思うが、現場をどのように捉えるのかなどの問題があり、ラウンドテーブルの設置は難しいと思う。

## 3. 意見を踏まえてのラウンドテーブルの案

- ・ ラウンドテーブルについては、市と民間施設との連絡会を活用する。
- ・ ラウンドテーブルでは、大きな部分については、連絡会の構成員で話し合い、具体的な細かい部分で、連絡会が必要と認めた場合は、各施設の職員も出席するなど柔軟性を持たせる。

## 【附帯意見】

ラウンドテーブルの設置のため、十分な準備を行うとともに、現場の負担を考慮する。